

# 付着生物ラーバ情報

## サンカクフジツボの付着は終盤です

### 1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1、出現数の推移は図2、3のとおりです。

#### (1) サンカクフジツボ

ラーバは久栗坂沖で5.0個体/m<sup>3</sup>、川内沖で3.1個体/m<sup>3</sup>見られました(表1、図2)。

#### (2) ムラサキイガイ

ラーバは久栗坂沖で6.1個体/m<sup>3</sup>、川内沖で54.7個体/m<sup>3</sup>見られました(表1、図3)。

#### (3) ユウレイボヤ

ラーバは見られていません(表1)。

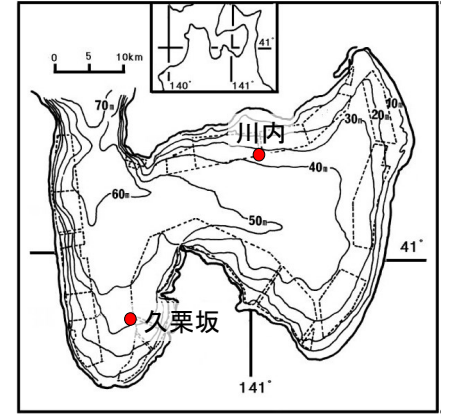


図1 付着生物ラーバの調査地点

表1 ラーバの出現状況

単位: 個体/m<sup>3</sup>

調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ムラサキイガイ	サンカクフジツボ
久栗坂沖	R5.9.1	0.0	0.0	6.1	5.0
川内沖	R5.9.1	0.0	0.0	54.7	3.1

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

### 2 今後の見込み

#### (1) サンカクフジツボ

付着直前のラーバ(図4)の出現数は前回より減少しました。**付着は終盤**と思われます。



図4 付着直前のサンカクフジツボラーバ(キブリス幼生)

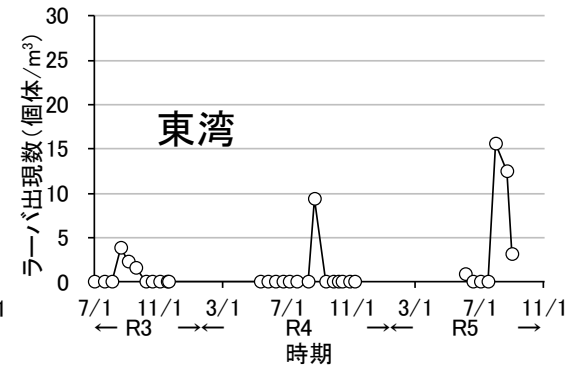
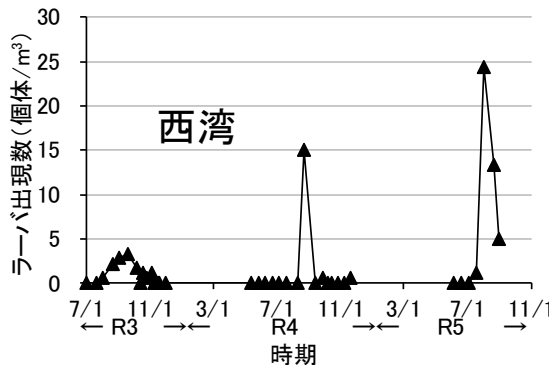


図2 サンカクフジツボラーバ出現数の推移(令和3年7月~令和5年9月)

・令和元年の観察開始から現在までの最大値: 西湾 59個体/m<sup>3</sup>、東湾 45個体/m<sup>3</sup>

#### (2) ムラサキイガイ

ラーバは周年見られますが、特に5~7月に多く出現します。春から夏のラーバ出現のピークは終了しましたが、秋から冬に向けて再び出現数が増加する見込みです。

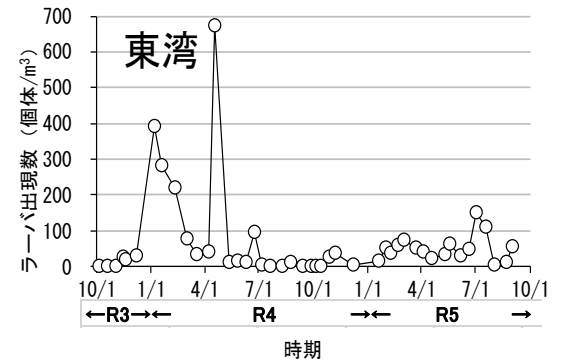
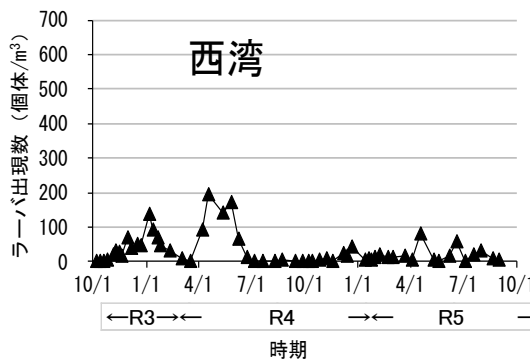


図3 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(令和3年10月~令和5年9月)

・平成27年の観察開始から現在までの最大値: 西湾 429個体/m<sup>3</sup>、東湾 1,650個体/m<sup>3</sup>

#### (3) ユウレイボヤ

今秋、中層水温が20℃を下回ると再びラーバが出現する見込みです。

